

Windows 版 NUOPT 8 修正パッチのご説明

2006/12/13
(株)数理システム

修正パッチ反映方法

Windows 版 NUOPT Ver.8 修正パッチの反映方法をご説明します。以下、NUOPT のインストール先をデフォルトの C:\Program Files\NUOPT とします。修正パッチの反映はライセンスのインストール前、インストール後のいずれでも有効です¹。必ず NUOPT GUI が起動していない状態で修正パッチを反映してください。また、この作業は必ず Administrator 権限を持ったユーザが行ってください。

1. NUOPT が使用しているコンパイラの種類にあったパッチ「20061213_patch_<コンパイラ名>.zip」をダウンロードしてください。

<http://www.msi.co.jp/nuopt/support/nuopt8patch.html>

から、ダウンロードすることができます。

NUOPT が使用しているコンパイラの種類とは、NUOPT のインストール時に指定したコンパイラのことです。インストール時に次の画面(図 1)で指定したものです。



図 1 インストール時のコンパイラ指定画面

コンパイラの種類が分からない場合は、システム管理者にお聞きください。

¹ ライセンスのインストールとは License.nuk のダブルクリックのこと、もしくは Windows メニューの「NUOPT License Install」を実行することをさします。

2. NUOPTのExcelアドインをインストールしている場合は、アンインストールしてください。Windowsメニューの「Excelアドインのアンインストール」を実行することによりアンインストールすることが出来ます。

3. 修正パッチを適当なフォルダーに解凍します。解凍すると「20061213_patch_<コンパイラ名>」というフォルダーが作成され、そのフォルダーの下には次の2つのファイルが生成されていることを確認してください(図2)。

- patch.exe
- patch.data

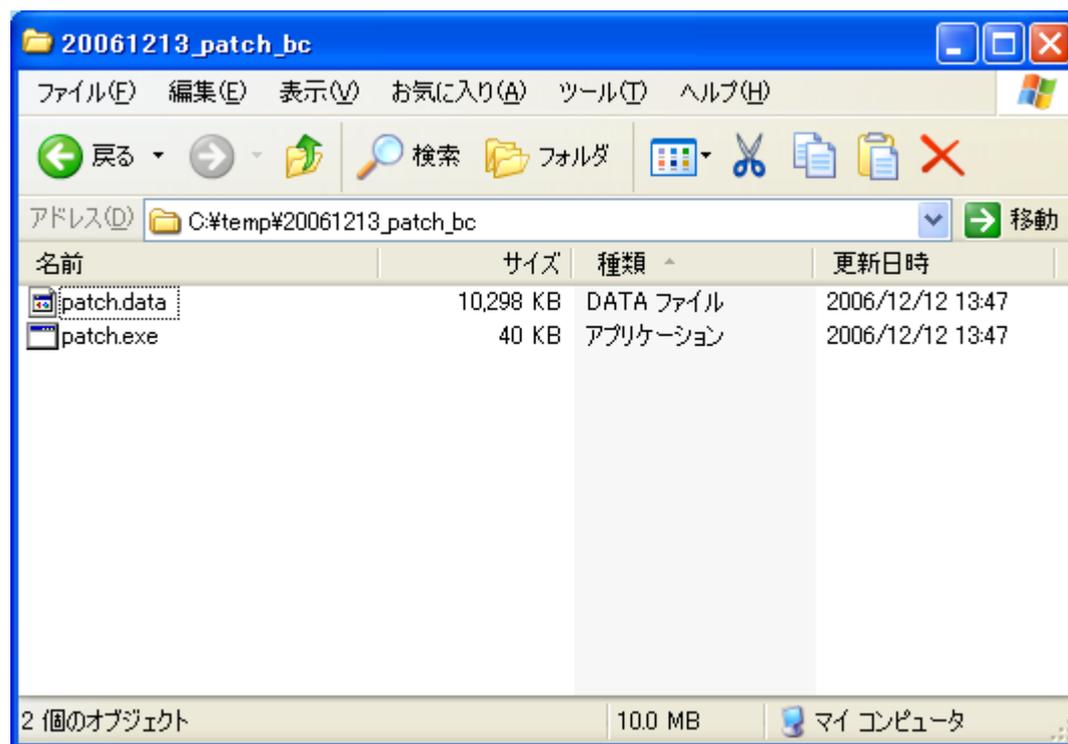


図2 「C:\temp」に解凍した場合

4.3のフォルダー「20061213_patch_<コンパイラ名>」ごと、NUOPTのインストール先のフォルダーへコピー（移動）します。コピーをすると、NUOPTのインストール先のフォルダーは図3のようになります。

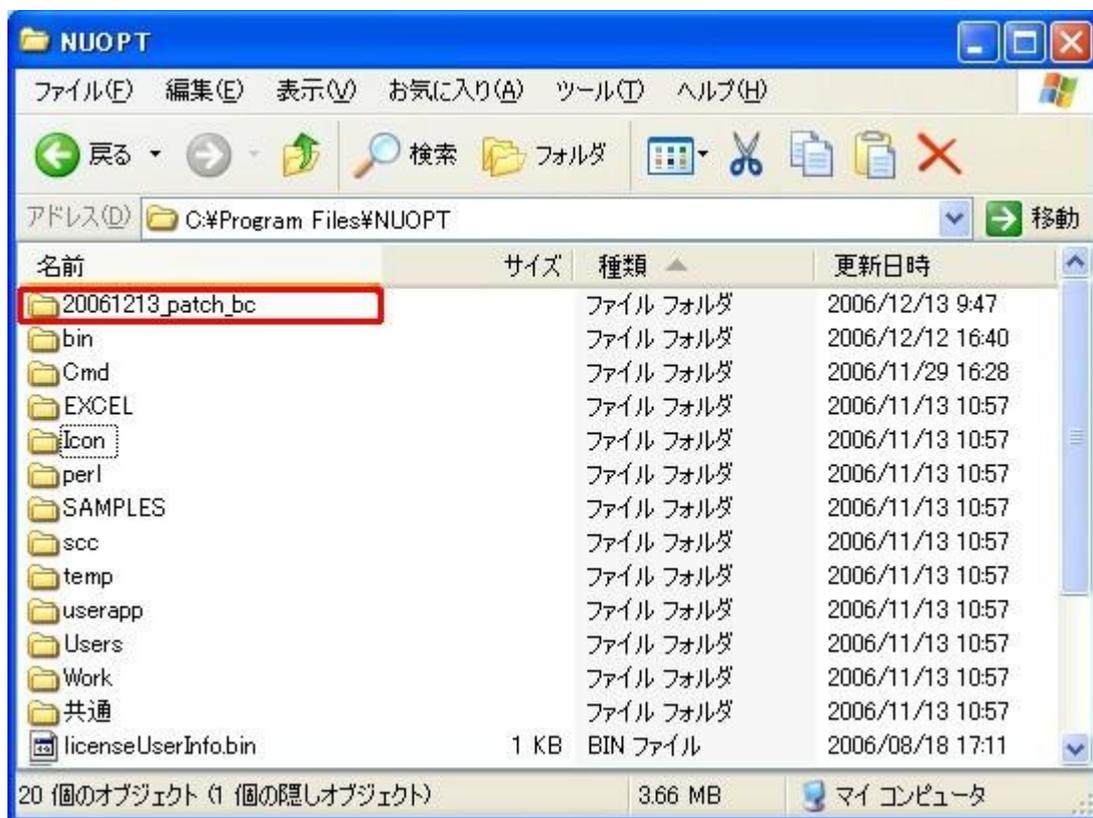
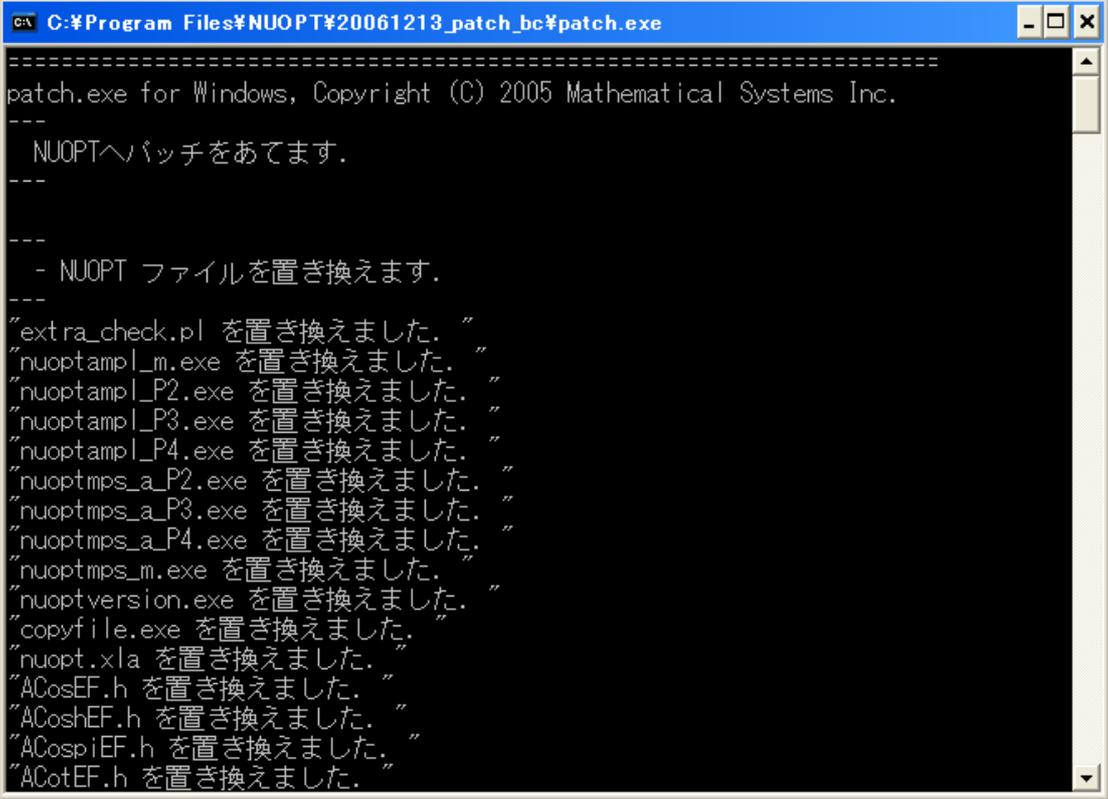


図 3

5. エクスプローラーで、フォルダー「20061213_patch_<コンパイラ名>」の中を表示させ、patch.exe をダブルクリックで実行させます。すると、DOS プロンプトが立ち上がり、修正パッチの反映処理が自動実行されます(図4)。



```
=====  
patch.exe for Windows, Copyright (C) 2005 Mathematical Systems Inc.  
---  
  NUOPTへパッチをあてます。  
---  
-  NUOPT ファイルを置き換えます。  
---  
'extra_check.pl を置き換えました。'  
'nuoptampl_m.exe を置き換えました。'  
'nuoptampl_P2.exe を置き換えました。'  
'nuoptampl_P3.exe を置き換えました。'  
'nuoptampl_P4.exe を置き換えました。'  
'nuoptmps_a_P2.exe を置き換えました。'  
'nuoptmps_a_P3.exe を置き換えました。'  
'nuoptmps_a_P4.exe を置き換えました。'  
'nuoptmps_m.exe を置き換えました。'  
'nuoptversion.exe を置き換えました。'  
'copyfile.exe を置き換えました。'  
'nuopt.xla を置き換えました。'  
'ACosEF.h を置き換えました。'  
'ACoshEF.h を置き換えました。'  
'ACospEF.h を置き換えました。'  
'ACotEF.h を置き換えました。'
```

図4

修正パッチの反映処理が正常に動作すると、DOS プロンプトに次のような文言が表示されますので、スペースキーなどを押して終了してください。以上で修正パッチが正しく反映された状態となります。

続行するには何かキーを押してください。...

パッチ反映後にインストーラーから変更・修復・削除を実行すると、パッチの状態が元に戻ります。その場合は、再度パッチの反映処理をしていただく必要があります。

6. 修正パッチが正しく反映されたかは、モデルを実行させることにより確認することが出来ます。この時、修正パッチの反映処理の後にビルドされたモデルを実行する必要があります。ご注意ください。

修正パッチが正しく反映されている場合は、NUOPTのバージョンが「8.1.3」となります(図5)。

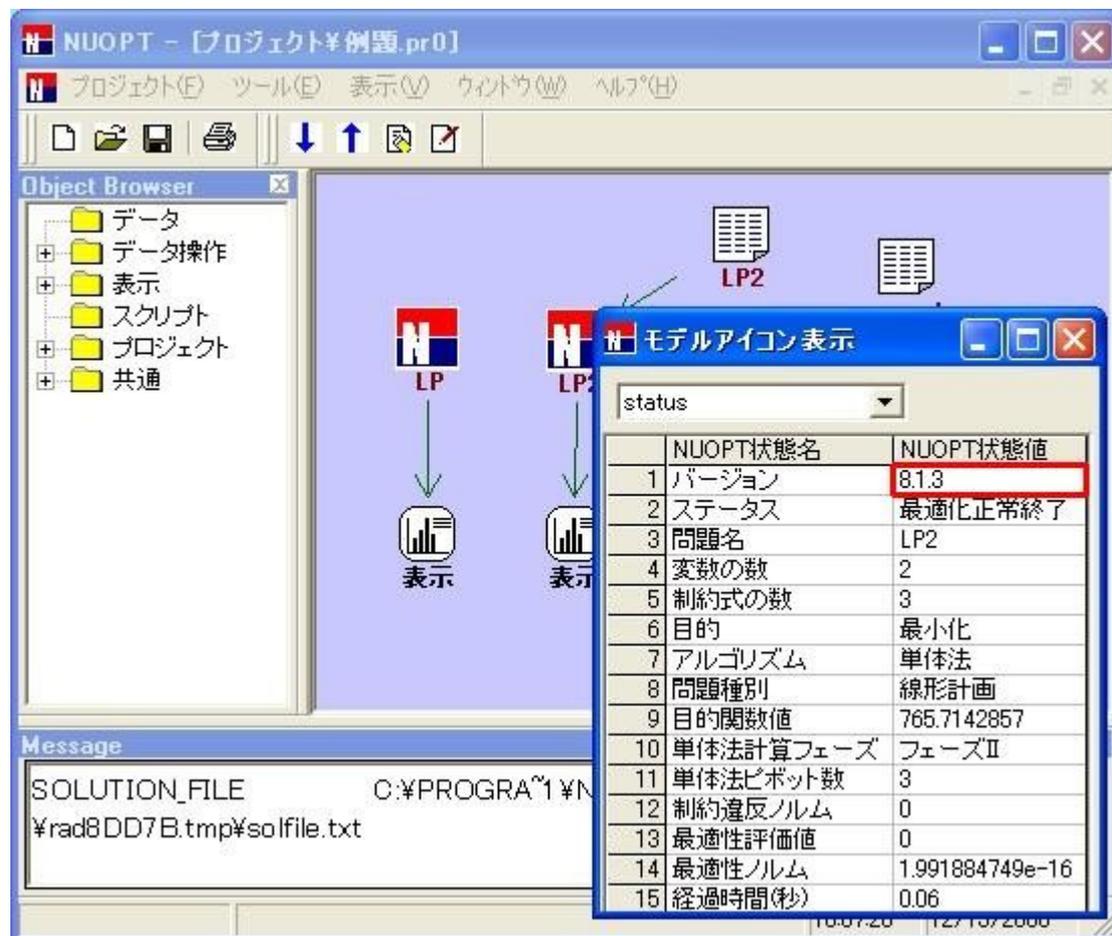


図 5

7. Excel アドインをご使用になられる方は Excel アドインのインストールをしてください。Windows メニューの「Excel アドインのインストール」を実行することによりインストールすることができます。

—以上—